

# 第十八回フォト旬会優秀作品(24年4月9日)

<自由題>



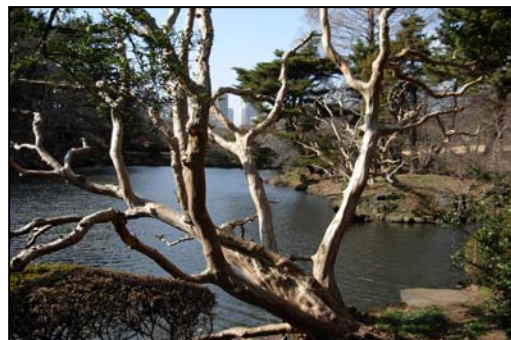
離れたい  
離れたくない  
四月くる 池田 隆

菜畑や  
屋根だけ見える  
阿弥陀堂 池田 隆



土手の土  
押し上げ春が  
頭出す 中村 晃也

風いまだ  
尖りしままや  
春光る 中村 晃也



自由題寸評：

池田さん：逆向きに止まった二羽の心境を巧みに表現している。

池田さん：菜の花畑の畦を辿ると阿弥陀堂に出る。春の田園風景が近景、中景、遠景と旨く捉えられています。

中村さん：春の芽生えを素直に表現しています。

中村さん：春は光が強くなりますが風はまだ冷たい。

今回は2名の作品に票が集中しました。他の会員の奮起を期待！

<句 付 け>

3月のお題写真



進化して陸に上がったオクトパス

大越 浩平

温暖化根っこも溶ける熱い森

上山 裕次

御仏の心にすぎる巨木かな

池田 隆

あんれまあ人の良いのにかこつけて

矢澤 正二

<寸 評>

今月のお題写真はアンコールワットのタブロムの巨木です。

(上山さん出題)

大越さん：巨木の根っこをタコに見立てました。タコといわずにオクトパスとした表現が巧みです。

上山さん：植物の繁茂を温暖化と結びつけた。

池田さん：巨木が、寺院を占拠するのではなく、逆に仏様にすぎるとみたユニークな視点。

矢澤さん：黙っていると、どこまでも侵入する凶々しい人（特にお婆さん）がいますね。「あんれまあ」が面白い表現でした。

今月は、ひとつの御題写真について、いろいろな角度からの見方が出てきました。自由題についても単に写真の説明に終わらずにユニークな視点からの句をつけるよう努力しましょう。